

国際交流ラウンジ開設

飯塚市の九工大 英語で会話楽しむ

九工大のグローバルコミュニケーションラウンジの開所式に集まった日本人学生や留学生



留学生と日本人学生懇親の場

英語で意思疎通できる日本人学生を増やし、留学生が日本人と親しめるように、九州工業大学情報工学部(飯塚市川津)は、国際交流の場「グローバルコミュニケーションラウンジ」を学生食堂前にオープンさせた。

1日の開所式には学生や

その後、軽食による懇親会があり、参加者が談笑した。1年生の阿部光希さん(18)は「開所式のお知らせを見て来た。英語を話せるようになって、留学生の友人をつくり、留学もしたい」と話した。

ラウンジには、ブラジル

在住経験がある松野雅代さん(56)と、ロシア人のマリナ・ウィタリーナさん(33)がスタッフとして交代で常駐。語学力や気さくな人柄で学生と留学生をつなぐ。

インドやバングラデシュなどからの留学生13人もア

ルバイトとして1日2人ずつラウンジに詰める。その一人、オーストラリアからの留学生アルバート・ジョンソンさん(22)は「英語で会話をしたい」と張り切っていた。

(野津原広中)